

も・み・じ

110



発行：放送大学福島学習センター
機 関 誌

〒963-8025

郡山市桑野1丁目22-21

TEL 024-921-7471

いわきサテライトスペース

TEL 0246-22-7318

<https://www.ouj.ac.jp>

－もみじの由来－

福島学習センターの建物は、もみじ館と呼ばれ、郡山女子大学発祥の地である。青葉の頃、紅葉の時期それぞれに美しい色どりが心をなぐさめる。当センター機関誌の名称としてまことにふさわしい。

重要!

お知らせ



◆面接授業や学習センター等の重要な情報については、システムWAKABA及び福島学習センターウェブサイトに掲載いたしますので、必ず週に1度はチェックするようにしてください。

システムWAKABA

<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/portal/>

福島学習センターウェブサイト

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/>

◆学習センター閉所日について

福島学習センター及びいわきサテライトスペースの閉所日

毎週月曜日及び祝日・7月27日(日)・8月12日(火)～17日(日)・9月16日(火)・9月23日(火)

(2023年度より、いわきサテライトスペースの閉所日は祝日等以外、月・火曜日となっております)

※10月以降の臨時閉所日については、次号以降お知らせします。

◆図書・視聴学習室からのお知らせ

単位認定試験の実施に伴い、7月2日(水)～7月22日(火)まで図書の館外貸出を停止します。(夏季集中科目生は通常通りの館外貸出が可能です)

◆次学期に向けての手続き

○次学期も学籍が続く方は、8月15日(金)～8月28日(木)〈大学本部必着〉の期間内に科目登録申請票(WAKABA申請可)を郵送してください。

○今学期で学籍が切れる方で次学期も学習を継続される方・再試験を受ける方は、8月29日(金)〔第1回〕・9月11日(木)〔第2回〕〈大学本部必着〉まで継続入学出願票、または一般の学生募集要項(ネット出願可)を郵送してください。

※詳しい内容については、学生生活の葉で必ず確認をしてください。

◆機関誌『もみじ』及び『利用の手引き』の配布方法について

配布方法については、福島学習センターウェブサイト内の「機関誌紹介」及び「各種お手続き」(下記URL)に配布方法が掲載されています。配布希望の方はホームページ参照の上、お手続きをしてください。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/about/magazine.html>

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/procedure/>



多角的視点について

石川 友保

放送大学でのゼミ授業では、学生のみさんから、経験に基づく意見や質問をたくさん頂けるので、「それは知らなかった」と新たな知識が得られ、「そういう見方があるのか」と新たな気づきがあり、毎回楽しく勉強になっています。このように、人生経験や得意分野が異なる人同士のコミュニケーション、もう少し広く言えば“多角的視点”でのコミュニケーションの重要性を日々感じているところですが、この“多角的視点”に関連して、2点ご紹介したいと思います。

表 ジョハリの窓

		自分が	
		わかっている	わかっていない
他者	わかっている	開放の窓	盲点の窓
	わかっていない	秘密の窓	未知の窓

1つ目は、「ジョハリの窓」です。ジョハリの窓とは、カウンセリングで用いられる手法であり、「対人関係における気づきのグラフモデル」として発表されたものです。“ジョハリ”は2つの発案者(ジョセフ・ルフト、ハリー・インガム)の名前に由来したものです。ジョハリの窓では、「自分」と「他者」、「わかっている」と「わかっていない」の組合せで、4つのマスを作ります(図参照)。そして、自分と他者がともにわかっているマスを「開放の窓」、自分がわかっていて他者がわかっていないマスを「秘密の窓」、自分がわかっておらず他者がわかっているマスを「盲点の窓」、自分と他者がともにわかっていないマスを「未知の窓」と呼びます。自分と他者が持っている知識を提供し合うことで「秘密の窓」や「盲点の窓」が狭くなり、「開放の窓」が広くなり「未知の窓」が開くという考え方です。この方法は、自分と他者の視点(知識)を出し合うことで、お互いに未知の部分が減り、新たなアイデアが生まれるという考え方を示しています。

2つ目は、「コップは上から見れば丸いが、横から見れば四角い」です。これは、私の大学時代の恩師から頂いた言葉です。研究の議論をしている中で、「君はコップを上から見て丸い丸いといっているが、コップは横から見れば四角いのではないかと、ご指導いただきました。自身の視点を複数持つということは難しいことですが、今でも「上からしか見ていないのではないかと」いった振り返りに使わせて頂きます。本原稿を書くにあたって、この言葉を改めて振り返ると、視点を複数持つという解釈以外にも、視点について説明することの重要性も含んでいると感じています。例えば、「コップの形は丸である」という人と「コップの形は四角である」という人がいたとき、それぞれの意見は1つの視点からは正しいので、お互いの意見を譲らないといったことがあるのではないのでしょうか。そこに、「上から見れば」「横から見れば」という視点の説明を加えることで、合意できるかもしれません。

以上のように、多角的視点は、新しいアイデアを生み出せる可能性がある反面、相互理解のためには丁寧な説明が重要と考えています。今後も、多角的視点を楽しみつつ、丁寧な説明を心掛けて、授業を行いたいと思います。

参考資料) 立命館大学ホームページ

(<https://www.ritsumei.ac.jp/page.jsp?id=120821&date=2014-05-17>)を参考に執筆

令和6年度第2学期 卒業証書・学位記授与式

令和7年3月29日(土)福島学習センター、3月30日(日)いわきサテライトスペースにて卒業証書・学位記授与式が行われ、卒業を迎えられた34名のうち18名の出席がありました。

学歌斉唱後、中田所長から一人ひとりに卒業証書・学位記が手渡され、お祝いの式辞がありました。

続いて卒業生を代表して、福島学習センターでは伊藤たか子さん、いわきサテライトスペースでは森井千賀子さんが「御礼のことば」を述べました。

ど卒業おめでとうございます



※延べ卒業生数 大学院64名 教養学部1,096名
(いわきサテライトスペース卒業生数含む)

令和7年度第1学期 入学者の集い

卒業証書・学位記授与式に引き続き、令和7年度第1学期入学者の集いとオリエンテーションが行われました。中田所長の挨拶の後、オリエンテーションでは放送授業、面接授業、オンライン授業、施設の利用方法、客員教員ゼミや所長カフェ等の説明が行われ、新入生の皆さんは熱心に聞いておられました。

